

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	保育・教育課程論					授業形態	授業形態	講義			
科目コード	750129	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○	ICT活 用	○
担当教員名	西田 雅美、藤本 朋美									ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業においては、保育所・幼稚園・認定こども園における、全体的な計画・指導計画について学ぶ。また、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育の計画を作成する上での留意点を踏まえ、子どもの発達過程に応じた保育の指導計画の立案について学ぶ。</p> <p>そして、保育の省察（計画・実践・評価・改善）のプロセスを通して、保育の質について点検・評価する方法を学ぶとともに、保育記録の分析・検討を行う。小学校との連携を見通した保育の実践力の習得を目指す。</p>										
関連する科目	保育原理 保育者論 保育内容総論 保育の方法と技術										
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、講義形式の授業を展開する。授業計画の内容に沿った講義を行う。</p> <p>授業の前半では、知識・理解の獲得に向けた講義を行い、後半では、グループワークや実践を取り入れ、学びを深める。理解度確認のための振り返りテストを実施する。</p>										
授業計画 【第1回】	1. 乳幼児期における保育の基本と計画 保育の基本原則や保育者の役割と保育の計画について学ぶ。										
授業計画 【第2回】	2. 保育計画の必要性 保育計画の意義と種類について学ぶ。										
授業計画 【第3回】	3. 保育における計画の種類と意義 全体的な計画と指導計画について学ぶ。										
授業計画 【第4回】	4. 「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 保育実践の根拠となる保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要について学ぶ。										
授業計画 【第5回】	5. 指導計画作成の手続き 指導計画作成の基本的な手続きや、指導計画作成の前に保育者が理解しておくべきことについて学ぶ。										
授業計画 【第6回】	6. 全体的な計画 全体的な計画の概要や編成について学ぶ。										
授業計画 【第7回】	7. 長期指導計画 長期指導計画の概要や種類、作成の基本について学ぶ。										
授業計画 【第8回】	8. 短期指導計画について 短期指導計画の概要や目の前の子どもに合った具体的な計画について学ぶ。										
授業計画 【第9回】	9. 乳児の指導計画 乳児の指導計画作成における基本的な考え方について学ぶ。										
授業計画 【第10回】	10. 幼児の指導計画 幼児の指導計画作成における基本的な考え方、指導計画の事例を通し、と子どもをとの姿をとらえることの大切さについて学ぶ。										

授業計画【第11回】	11. 小学校接続を意識した指導計画 小学校との連携の必要性や接続期の位置づけ、連携を意識した指導計画作成で大切な点について学ぶ。
授業計画【第12回】	12. 異年齢保育を意識した保育計画 異年齢保育の意義や指導計画の基本的な考え方について学ぶ。
授業計画【第13回】	13. 保育の省察および記録とカンファレンス 保育の省察、保育評価の意義、評価と反省について学ぶ。
授業計画【第14回】	14. 保育所・幼稚園・認定こども園の評価のしくみ 保育士・保育所の自己評価の意義や幼稚園・認定こども園の評価制度、要録の役割について学ぶ。
授業計画【第15回】	15. 保育の計画と評価の意味の再確認 保育計画の作成と評価を学ぶことについて、改めて確認する。
授業の到達目標	1. 保育・教育内容について学び、保育の計画と評価について実践する力を習得する。 2. 子どもの発達段階に応じた保育・教育内容について理解し、保いう計画を作成する力を習得する。 3. 保育・教育の「計画・実践・評価・改善」のプロセスについて理解する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業内で、次回の内容に関する説明を行う。その事項に関する内容について各自で調べる(30分程度)。
授業時間外学習【復習】	授業内容の振り返りと、ミニテストで実施した箇所を含めて各自でまとめ、内容の定着を図る(40分程度)。
課題に対するフィードバック	振り返りテストは実施後に解説する。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 最終試験(50点) 2) 学習態度・意欲(30点) 3) ミニテスト・課題提出(20点)
テキスト	『平成29年度告示「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」』<原本> チャイルド本社 その他、適宜資料を配布する。
参考書	『保育の計画と評価』 ミネルヴァ書房 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省編 フレーベル館 『幼保連携型認定子ども園 教育保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編 フレーベル館
備考	